

生活協同組合あいコープみやぎ 機関紙



2011年6月27日

生活協同組合
coop あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3丁目4番
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6973
http://www.miyagi.coop

生産者支援金のおお願い

沿岸部を中心に、多くの生産者が被災し、苦境に立たされています。『食の自給と安全』は生産者の存在なくしてはあり得ません。生産者へのお見舞い支援のための、ご協力をお願いします。

生産者支援金の申し込み番号 000701 / 1口200円
ポイント支援金に際する場合 222223 / 1口500円
(※注文番号欄に申し込み番号、個数欄に口数を記入して下さい。)
インターネット注文も同じです。

原発事故と放射能汚染問題学習会 田中優氏講演会 YOU tube 動画配信!

参加申し込みは500人以上あり、やむなく一部の方に参加の断りを行いましたことによりお詫言いたします。皆様にも少しでもお伝えしたいと考え今回の講演会を動画でご覧いただけるようにしました。
<http://www.youtube.com/user/icoopMiyagi>

7月7日(木) 生協あいコープみやぎ 総代会

ハネレ山台 AM 9:45~

暮らしと社会を見直す あいコープの原点に立とう! 脱原発を目指して!

今週号のあいあいあいは、2011年度議案書 第2号議案 事業計画4と5について解説いたします。
(6月20日号のあいあいあいから 4回にわけてお伝えいたします。)

4. 「あいぶらんど」を核に、あいコープにしかない商品作りを一層進めます。

私たちは、昨年度、81品目のあいぶらんど商品を選定しました。これらは基本的な食生活を送るために必要とされる食品です。世間の流行や、コマースに惑わされることなく、食卓を作る基本食品であるあいぶらんどをきちんと食べることで、利用結果を進めます。

商品は、生産者と共に作るものです。その背景にある生産現場、生産環境。フードマイレージに関する問題のように、遠くからの取り寄せ商品が、輸送エネルギーやコストがかかること。また、温室で加温のために燃料を燃やしたり、季節違いのものを食べることで、火油に合わせて食べるなどの違いなど、手元に商品が届くまでの過程を理解し、常に「あいぶらんど」が、よりよいものとなるよう活動を続けます。更に、内容を充実させるために、ホームページ、まんま通信、あいあいあい、地区ニュースなどを活用し、組合員、生産者、職員と全体で情報を共有し、商品の価値や食べる大切さを広めていきます。

※フードマイレージについて

食料の輸送に伴い排出されるCO₂が、地球環境に与える負荷を表す指標。
例えば、食料輸送量×輸送国から輸入国までの距離(トン・キロメートル)で表す。
地産地消であれば、小さくなり、遠くから食料を運んでくると大きくなる。

5. あいぶらんど運動を推進し、商品利用を進めます。

この度の震災では、自分たちの努力だけでは、生産現場を守りきれないことを経験しました。産直米の生産者でもある七郷みつは会は、甚大な被災があった「仙台市若林区」に位置します。先を見定めることが困難とも思える復旧作業ですが、これを機に、七郷みつは会復興支援に向けて行う具体的な活動を通じ、第一次産業の大切さを社会に訴えています。

また、放射能汚染から身を守るために、今叫ばれる「免疫力を高める食」として、昔からの日本の伝統食が一番とされています。「あいぶらんど」を活かし、地区での「あいごはん」の料理講習会開催や「あいごはん」メニュー提案の活動を通じ、「あいぶらんど」を食べることで、まんま通信の商品利用を進めます。
そして、この運動で、組合員一人一人があいコープの輪を広げ、あいぶらんど運動を推進します。
(あいぶらんど運動推進担当 理事 工藤恭子)

あいコープカレンダー

6/17現在予定

7/1(金) 第1回
ぶんぶんカキin泉

子どもたちの未来のために
脱原発を推進する学習会企画

『毎日の生活、どうしてる?』

会場: ミエコムセンダイ
時間: 10:00~12:00

7/7(木) 総代会

会場: ハネレ山台
時間: 9:45~

10/30(日) Wa!お祭り
卸商センター4Fエスタ

地区の予定

7/4(月) 青葉B地区
餅田醤油さんとあしやべりお絵

会場: エレック山台調理室 10:00~12:00

7/15(金) しあさい地区
ぶんぶんカキinしあさい& リラク

『お茶を飲みたい』
会場: 日の出町センター 10:00~12:00

あいコープみやぎの放射能自主測定活動についてー 放射能自主測定の結果を公開していきます

あいコープみやぎの放射能自主測定活動

あいコープは「地産地消」を堅持し、風評被害を抑止し、東北の農畜産業・水産業を守る立場に立ちます。

同時に、国や自治体の食品モニタリング体制が極めて不十分である現状を踏まえて、自主的計画的継続的なモニタリング体制を作ることで、自分達で放射能汚染の実態をつかみ、組合員の安全の確保を目指します。そして、そのモニタリング結果は原則として情報公開することで、組合員の安心を高めます。

あいコープ自前の測定活動を行ないます

- ① できるだけ多くの品目(農産物、畜産物、水産物、土壌など)を、ふるいに掛けるスクリーニング検査(一次モニタリング)を重視し、自前で実施できる体制を作ります。
- ② 宮城、福島、茨城、山形の農畜産物、水産物を優先して開始します。「対象産地(生産者)の対象品目が初出荷される前に必ず一次モニタリングを行なう」体制を目指します。
- ③ 一次モニタリングは NaI(Tl)シンチレーションサーベイメーターを用いて、厚生労働省の「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」に則って行ないます。(この機器はガンマ線の感度はかなり高いが、ヨウ素、セシウム等の核種弁別は出来ません。)
- ④ 一次モニタリングの測定値がマニュアルに基づき一定の目安を超えた場合、供給を一時停止し、ゲルマニウム半導体検出器(核種ごとの厳密な数値が出せる機器)等を備えた公的検査機関へ送り、二次モニタリングを実施します。
- ⑤ 二次モニタリングの結果による供給可否の判定は、基本的に国の暫定規制値に基づいて行ないます。今後の測定データ(自主測定結果、他団体の測定結果など)を積み重ねる中で、「自主基準」の設定を検討していきます。

公的検査機関での検査を計画的に行ないます

上記の一次モニタリング⇒二次モニタリングという流れとは別に、あいコープにとっての主要品目＝組合員の利用結集が高い農畜産物等については、

公的検査機関へ送り、ゲルマニウム半導体検出器等による核種弁別した検査を実施します。宮城、福島、茨城、山形の農産物等を優先的に、計画的に検査していきます。

あいコープは自主測定の結果を公開します

- ① あいコープは、情報を積極的に公開することが、組合員の「信頼」と「安心」を高め、むしろ風評被害を防ぐという立場を取ります。自主測定の結果等を、原則として組合員へ公開します。
- ② 具体的には、あいコープでの一次モニタリング、公的検査機関での二次モニタリングの結果、生産者側が自主的に行なった検査の結果等を、あいコープのホームページ掲載、組合員へニュース配布等していきます。
- ③ 一次モニタリングで公開する項目は、「採取月日」、「測定月日」、「県名」、「市町村名」、「品目名」、「供給可否の判定結果」とします。
- ④ 二次モニタリングなど検査機関での検査を行なった場合は、③に加えて検査機関での検査結果(核種ごとの測定数値)も公開します。

いま全力で情報公開の準備を進めています

あいコープでは、6月上旬にようやくNaI(Tl)シンチレーションサーベイメーターが入荷し、早速、研究機関の専門家のアドバイスを仰ぎながら、機器校正(機器の正確さのチェック、精度の見極め)や測定技術の習得に努めております。

具体的には、あいコープ自主測定データと公的機関での検査データの「つき合わせ」を何度か行ない、自主測定データの正確さ・精度の見極めを行なっています。またブレの少ない測定結果をきちんと出していくためには、一定の測定技術を身に付けることが必要であり、担当職員が鋭意トレーニングを積んでいます。

6月10日には、約50名の地場生産者を集めて、生産者向けの自主測定方針説明会を開催しました。生産者はあいコープの自主測定方針を理解し、積極的に協力していくことを確認しました。

以上のように、いま全力で自主測定と情報公開の準備を進めておりますので、ご報告申し上げ、組合員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

(2011/06/27)

ほっと ジョイケアHOTつうしん

震災後の子どもの心のケアについて

電話相談の「子ども相談」でおなじみの 宮城教育大学教授 菅井 裕行先生

最近、ニュースなどで、子どもたちが盛んに「震災ごっこ」をして遊んでいることが報道されています。今回、このことに注目が集まるのは、子どもの「心のケア」に対する関心が高まってきているからではないかと思えます。

子どもにとって、遊戯は一つの「表現」であるとも言われてきました。大きな出来事に遭遇すると人は動揺します。今回の震災は、はかり知れない動揺を引き起こしました。私に大人が「どうしてこんな目にあうのだろう」「この先一体どうなるのだろう」と様に迷い配ると同じように、子ども達もこの未曾有の事態をどの様に捉えていいかわからず、気持ちの整理がつかないでいるのだと思います。そのような「しっくりこない」「理解できない」「収まりがつかない」気持ちがある時、人はそれを外に向けて「表現」することで、体験を理解したり昇華したりして折り合いをつけようとします。多くの芸術作品がそうであるように、子どもたちがしていることも、そのような表現の一つとして見る事ができると思います。

けれども、ここで注意したいことがあります。そのような表現を過度に強いはいけません。そして、表現して終わるのではなく、そのことをきっかけにして話し合ったりすることなど、対話をする事が重要です。さらに深い気持ちの表現は、いい言葉の中でこそ現れることも覚えておく必要があります。何気ない気配りや対応すること、それは子どもの気持ちを汲もうとしてみることを意味します。対話も通じ合いも成立が困難で対応に苦慮する場合には、専門家に相談することも一つの方法です。

あいコープで暮らす 放射能対策の 知恵袋

あいコープで美味しく 甘いものを摂ろう!!

これからの私たちの生活は、放射能セシウムとの長い戦いになります。血圧調整などを行い、体内に必須のミネラルであるカリウムとセシウムはよく似た物質とされています。体内のカリウムを十分にしていれば、セシウムは体内に入っても排出されやすいようです。しかし、ストレスや白砂糖を使った甘い物は体内のカリウムを減らします。そうするとセシウムが体内に取り込まれやすくなるそうです。カリウムを多く含む甘みもあります。花見糖、てんさい糖、メープルシロップなど精製されていないものです。まずは、ご家庭の調味料をかえてみましょう。甘い物を食べたい時はカリウムを含むドライフルーツがオススメです。そこで、私が一押しするのは、**「おはわのぶどうたっぷり米粉パン」** レーズンたっぷり、てんさい糖使用! ストレスを溜めない! くよくよしない! ごきげんに生きることも、大切なことです。

＜理事 黒田 由紀子＞